



# 海外勤務者の給与と社会保険・税務の基礎実務セミナー

## プログラム内容

### 1. 海外勤務者の労務管理

- (1)海外出向・出張がある会社がまず準備すべきこと
- (2)海外拠点の種類
- (3)出張・出向・転籍・現地採用と雇用契約の関係
  - ・労働契約法と海外出向命令
  - ・出向（在籍出向）と転籍（移籍出向）の違い
  - ・日本で雇用した外国人を海外勤務させる場合
  - ・日本において労働者の身分である人が、海外で役員となる場合
- (4)出張・出向・転籍・現地採用と労務管理の留意点
  - ・労働時間、休日、休暇等の扱い
  - ・日本の労働条件と異なる場合の留意点
- (5)法人間で出向契約を締結する際の留意点
  - ・契約書に記載すべき労務管理、税務に関するポイント
- (6)就業規則の効果範囲
- (7)海外赴任前に会社および赴任者本人が行うこと
- (8)海外勤務者の健康管理と企業の安全配慮義務
  - ・労働時間や休暇の管理、予防接種、健康診断
- (9)海外勤務者の復帰時の留意点
- (10)中国・東南アジア諸外国における労務管理の注意点

### 2. 海外勤務者の給与の決め方

- (1)海外勤務者の給与の考え方
- (2)海外勤務における各手当の内容
  - ・各諸手当の考え方、支給目的、必要性
- (3)海外での住宅・教育・医療における費用などの取り扱い
- (4)海外赴任から帰任までのその他の手当や費用
- (5)現地所得税と社会保険料の取り扱い

### 3. 海外勤務者の社会保険

- (1)日本の社会保障制度の仕組み

- (2)日本の社会保障制度に継続加入するための要件とは
  - ・健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険
  - ・支払方法と保険給付の関係
- (3)海外勤務者の医療保険と海外旅行傷害保険の有効活用
  - ・日本の健康保険制度と旅行傷害保険の使い分け
- (4)海外勤務者の介護保険免除制度
- (5)海外勤務者の年金保険と社会保障協定（二重払いの解消）
- (6)海外勤務者の労災保険
- (7)海外勤務者の失業給付
- (8)海外勤務が決定した者と帯同する家族の雇用保険
- (9)海外子会社の外国人従業員の日本国内への異動

### 4. 海外勤務者の税務

- (1)所得税とは
- (2)居住者・非居住者の概念
- (3)海外赴任時の年末調整
- (4)出国後に支給する給与・賞与
- (5)出国後の住民税
- (6)帰国後に支給する給与・賞与
- (7)帰国した年の年末調整をする際の留意点
- (8)183日ルールとは
- (9)海外勤務者の帰宅旅費は課税されるか
- (10)海外勤務者と退職金支払の留意点
- (11)住宅ローンがある場合等その他特殊な事例

### 5. 海外勤務規程の作成方法

- (1)規定すべき事項とは
- (2)会社の家族帯同に対する考え方
- (3)赴任・帰任時の費用負担の考え方
- (4)一時帰国の取扱い（帰国間隔、費用負担）
- (5)単身赴任者の場合

### 6. 外国人の雇用

- (1)外国人を日本で雇用する際の留意点全般（2019年4月入国管理法の改正）
- (2)雇用時の社会保険、労働保険、所得税、住民税
- (3)帰国時の社会保険、労働保険、所得税、住民

※出張研修も承っております。表面のお申込先までお問い合わせ下さい。

## 講師プロフィール

社会保険労務士法人トムズコンサルタント 代表社員／特定社会保険労務士 河西 知一（かさい ともかず）氏

大手外資系企業などの財務・人事部門の管理職を経て、平成7年社会保険労務士として独立し、河西経営労務管理事務所を設立。労務管理、賃金体系変更、社会保険、労働保険などの業務を通じて数多くの企業の指導にあたる。平成11年4月、トムズコンサルタント株式会社を設立。上場企業から中小企業までの人事労務問題・賃金に関するコンサルティングを手掛けている。明快な講義と懇切な指導には定評がある。

著書：「モンスター社員への対応策」(株泉文堂)「やってはいけない会社の人事」(綜合法令株)

「法律家のための社会保険」(新日本法規出版) 他専門書の執筆多数

左記プログラムは都合により変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。